



図書館だより

令和7年11月
八尾高校図書館
22H 舟田・大泉

食の秋

皆さんこんにちは。11月といえば「食の秋」。秋の味覚が豊富に揃うこの季節、食べ物にまつわる本を通じて、季節の変わり目を感じるのはいかがでしょうか。



『朝10分でできるスープ弁当』

有賀薫 マガジンハウス

スープ作家として、長年毎日スープを作り続けている有賀薫が提案するスープ弁当の本。手頃に簡単に作ることができ、かつ素材の良さを最大限に活かすことのできる、数々のおいしそうなスープの作り方が載っています。本の最後には、スープに付け足すと合う冷蔵庫の余り食材が書かれているのでとても便利です。普段料理をあまりしない人でも、見ただけで食欲や関心が増すこと間違いなしです。これから寒くなる季節、ぜひ手にとってこの本に載っているスープを作って食べてみてください。



『いもづくし』

農文協 農山漁村文化協会

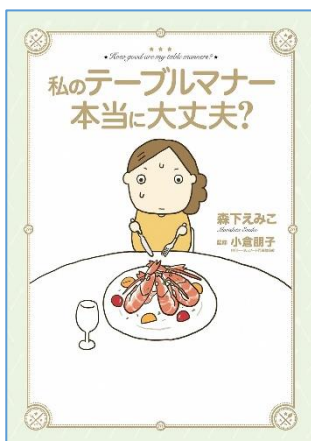
サツマイモやジャガイモのほか長芋や里芋の良い保存方法やおいしい調理の仕方、良い加工の仕方、その芋から得られる栄養素や健康効果についてわかりやすく書かれています。また、それぞれの芋の品種の特徴や芋の名前の由来など詳しく書かれていて、興味や関心が深まる内容でとてもおもしろいです。芋について詳しく知りたい人、芋への理解力を深めたい人、いろいろな芋をおいしく調理して食べたい人にはとてもあっている本です。



『私のテーブルマナー本当に大丈夫？』

森下えみこ KADOKAWA

食事のマナーについて、見やすく分かりやすく教えてくれる本です。日常的に使うお箸やフォークの使い方や、食事の話し方などいろいろなマナーを学べます！この本を読めば、家族や友達と一緒にご飯を食べるときも、自信をもって食事ができるようになり、一緒にご飯を食べる相手にも良い印象を与えます。食事をもっと楽しく、礼儀正しく食べるヒントがたくさん書いてある一冊です。



読書をしようぜ！

「迷わない心」のつくり方

稲盛和夫：文 稲盛ライブラリー編



「人は、誰でも迷います。望まない環境、思い通りに進まない物事、運にみはなされたような気がすることもさえます。でも、苦しいときも、どんな心で選択するのかで、その後の人生が変わってきます。そう、迷わない心の持ち方があるのです」で始まる書籍『迷わない心』のつくり方』を紹介します。

本書は、京セラやKDDIをつくった経営者・稲盛和夫氏が、自分の生き方や考え方を語ったもので、「正しいことを貫く勇気」や「努力を続ける大切さ」など、人生で迷ったときにどう判断すればよいかをわかりやすく教えてくれます。たとえば、「人として正しいかどうか」を基準に考えることで、どんな場面でも後悔しない選択ができると説きます。

高校生にも通じる内容で、進路や人間関係に迷ったときのヒントがたくさんあります。読めば、自分の心を強く保ち、前向きに生きる力をもらえる一冊です。



新着図書紹介

図書館前に
すべて展示中！

はごろもフーズってどんな会社?: 食卓を支える! シーチキン大研究: WILL こども知育研究所

さよならジャバウォック = FAREWELL TO JABBERWOCK: 伊坂幸太郎

半うつ: 平光源

一瞬を生きる君を、僕は永遠に忘れない。: 冬野夜空

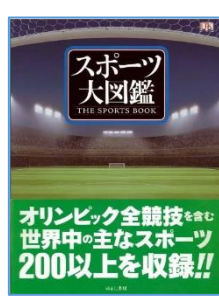
殺し屋の営業術: 野宮有

イクサガミ天・地・人・神: 今村翔吾

最後の外科医: 中山祐次郎

スポーツ大図鑑: レイ・スタッブズ

朝起きて、君に会えたら: 映瑠



『大学受験ムビスタ』シリーズ

